

雑誌掲載論文内報

下記のとおり掲載論文目次をあらかじめ内報いたします。御覧の上、貴社製品の関係ある論文がございましたら、広告掲載にご利用くださるようお勧め申し上げます。

(株)医学書院 販売・PR部 TEL 03-3817-5696

誌名

胃と腸（月刊）

巻号	第57巻 第2号	2022年2月号	
判型	B5判	14,500部	オフセット
広告締切	2021年12月15日		
発行予定	2022年01月31日		

※広告料金の詳細につきましては、お申し込み先の広告代理店にお問い合わせください。

区分	論文題名	執筆者名	所属
序説	特集／炎症性腸疾患の粘膜治癒を再考する	江崎 幹宏	佐賀大学医学部内科学講座消化器内科
主題	1. 炎症性腸疾患の治療ターゲットとしての病理組織学的所見の位置付け	八尾 隆史	順天堂大学大学院医学研究科人体病理病態学
	2. 潰瘍性大腸炎における粘膜治癒評価の意義-通常内視鏡の立場から	長沼 誠	関西医科大学内科学第三講座（消化器肝臓内科）
	3. 潰瘍性大腸炎における粘膜治癒評価の意義-画像強調内視鏡の立場から	上村 修司	鹿児島大学大学院歯学総合研究科消化器疾患・生活習慣病学
	4. 潰瘍性大腸炎における粘膜治癒評価の意義-超拡大内視鏡の立場から	工藤 進英	昭和大学横浜市北部病院消化器センター
	5. 潰瘍性大腸炎における粘膜治癒評価の意義-カプセル内視鏡の立場から	細江 直樹	慶應義塾大学医学部内視鏡センター
	6. Crohn病における小腸粘膜治癒評価の意義-X線の立場から	久能 宣昭	福岡大学医学部消化器内科学講座
	7. Crohn病における小腸粘膜治癒評価の意義-バルーン内視鏡の立場から	大塚 和朗	東京医科歯科大学医学部附属病院光学医療診療部
	8. Crohn病における小腸粘膜治癒評価の意義-カプセル内視鏡の立場から	中村 正直	名古屋大学大学院医学系研究科消化器内科学
	9. Crohn病における全層性炎症評価の意義-MRIの立場から	小林 拓	北里大学研究所病院消化器内科
主題研究	Artificial intelligenceを用いた潰瘍性大腸炎における粘膜治癒評価	仲瀬 裕志	札幌医科大学医学部消化器内科学講座
ノート	炎症性腸疾患のバイオマーカー	新崎 信一郎	大阪大学大学院医学系研究科消化器内科学

※冊子制作の都合上、発行予定日、掲載内容、および執筆者を予告なく変更する場合がございますことをご了承ください。確定内容につきましては、弊社編集室へ直接お問い合わせください。